

久喜市議会

平成23年2月定例会

市政に対する質問通告

第1日目	質問予定議員(発言順)
2月22日(火)	①春山千明 議員 ②石田利春 議員 ③石川忠義 議員 ④齋藤広子 議員 ⑤岸 輝美 議員 ⑥内田 正 議員 ⑦田村栄子 議員
第2日目	質問予定議員(発言順)
2月23日(水)	①盛永圭子 議員 ②渡辺昌代 議員 ③鎌田忠保 議員 ④宮崎利造 議員 ⑤松村茂夫 議員 ⑥木村奉憲 議員 ⑦戸ヶ崎博 議員
第3日目	質問予定議員(発言順)
2月24日(木)	①梅田修一 議員 ②杉野 修 議員 ③猪股和雄 議員 ④矢崎 康 議員 ⑤岡崎克巳 議員 ⑥大谷和子 議員 ⑦園部茂雄 議員
第4日目	質問予定議員(発言順)
2月28日(月)	①大鹿良夫 議員 ②鈴木精一 議員 ③鈴木松蔵 議員 ④足立 清 議員 ⑤田島行雄 議員 ⑥井上忠昭 議員

【第1日目 2月22日（火）】

① 春山千明 議員

- 1 昨年9月議会、11月議会と引き続き、久喜市立さくら保育園の早期建て替えに関する質問をした。その後、両園の改築のための実施調査の進捗状況と建築計画策定のスケジュールを伺う。
- 2 備前堀川にかかる備前掘橋、備前前堀川にかかる前堀新橋は老朽化し、車の通行には耐えがたい状況にある。また、通行者によるゴミの不法投棄も多く、地域の住民だけでは対応の限界にきている。久喜市として橋に関わる安全管理や周辺の環境整備を早急に行うべきであるが、いかがか伺う。
 - (1) 老朽化の著しい備前掘橋、前堀新橋は自動車の通行を禁止し、地域環境を守るべきであるが以下質問をする。
 - ア この2つの橋は老朽化が進み、亀裂や穴あきなどがある。久喜市として早急に修繕すべきであるがいかがか伺う。
 - イ この2つの橋付近及び、川の中には家庭ごみだけでなく、多量の工業用オイル缶などゴミの不法投棄が絶えず、地域では状況に応じ対処してきているところである。また、周辺の農道や田の中にもゴミが毎日のように散乱している。久喜市はその現状をどのように把握しているか伺う。
 - ウ この2つの橋に通じる未舗装の農道は、車両の通行で土が田に広がり、自然と道幅が従来の道幅より広くなり、稲に影響を及ぼしている。久喜市はこの状況を、どのように把握しているか伺う。
 - エ この2つの橋に通じる舗装された道路は、橋に入る際、クランクになっているため田に転落する車両が後を絶たない。久喜市はこの状況を、どのように把握しているか伺う。
 - オ ア～エまでの状況からわかるように、この2つの橋を通行する車両による、地域への被害は多大だと考える。久喜市としては警察と連携し、早急にこの2つの橋は自動車を通行止めにするべきであるが、いかがか伺う。
 - (2) この2つの橋下などには葦や篠竹などがはびこり、水の流れが悪く、ゲリラ豪雨時には周辺一帯が浸水した。地域の清掃の範囲では川中まで浚渫をすることは難しい。久喜市として埼玉県と連携し、川の中の浚渫を行うべきであるが、いかがか伺う。
- 3 公共施設予約システムの構築を早期に進めるべきであるが、いかがか伺う。
 - (1) 昨年9月議会において、合併後、久喜市の公共施設の予約管理が統一されていないことによる細かい問題点を質問した。

総務部長の答弁では、「公共施設の申し込み、また利用の状況等は、これまでの経緯で、施設利用の方式が異なってしまっている。これらのことは久喜市として全体的に調整を図る考えている。」とあった。市民、利用者にとってわかりやすく、利便性の良いシステム構築になることと考えるが、その後、全庁的にどのような調整が図られ、システム構築はどこまで進んでいるのか、内容を伺う。
 - (2) 様々な改善をし、きめ細かなシステムを早期に実現するべきであるが、いかがか伺う。

- 4 久喜市内小中学校のプール施設には、老朽化が著しい学校がある。それぞれ状況を確認し、早期に改修するべきであるが、いかがか伺う。
- (1) 久喜市内小中学校のプールは昭和37年から平成13年までの間に建築されている。現在のプール施設の状態をどのように把握しているか、伺う。
 - (2) 菖蒲地区、栗橋地区、鷲宮地区では、プールがない学校のプール学習時や、事情によりプールが使用できない場合には、公共屋内プールが利用できる。しかし、久喜地区では、距離などの問題から、公共屋内プールの使用が難しい状況にあると考える。こうした観点から、老朽化が著しいプール施設の改修に優先順位をつけ、早急に着手すべきであるが、いかがか伺う。
- 5 市内小中学校における特別支援学級を、それぞれの学校における児童生徒の状況に応じ、さらに充実するべきであるが、いかがか伺う。
- (1) 久喜市内小中学校には特別支援学級の設置校と設置の無い学校がある。現在、未設置校の中で、特別支援学級に在籍が望ましい児童生徒への対応をどのようにしているのか伺う。
 - (2) 特別支援の必要な児童生徒が在籍していても、特別支援学級を設置していない学校は必要に応じて設置するべきであるが、いかがか伺う。
 - (3) 特別支援学級の設置校においても「知的障がい学級」と「自閉症・情緒障がい学級」二つのクラスを設置する学校と、どちらか一つだけのクラスを設置している学校がある。その根拠を伺う。
 - (4) 特別支援学級は障がいに応じてクラス分けできるように学級を設置するべきであるが、いかがか伺う。

② 石田利春 議員

1 栗橋南小学校の自校給食について。

学校給食の運営は、自校方式が最も優れている。栗橋南小学校北校舎建て替え後の給食は、自校方式の給食を継続すべきだが、どのようにすすめるのか伺う。

- (1) 栗橋南小学校北校舎改築に伴う、学校給食運営に関する栗橋地区PTAとしての見解が出されているが、この思いを市はどう受けとめているのか伺う。
- (2) 北校舎建て替え後、自校方式を継続するには、基本設計を変更し、北校舎に調理室を設置すべきと考えるが市の見解を伺う。

2 公共施設の使用料・電気料について。

公共施設の使用料や電気料は、使用する目的によって、検討すべきだと考える。

- (1) スポーツ少年団など、義務教育の子ども達が市の公共施設や学校の体育館を利用する場合は、教育的観点から使用料や電気料など無料にすべきだが。
- (2) 高齢者の団体などが健康増進を目的に公共施設や学校の体育館を利用する場合は、無料にすべきと考えるが。

3 住宅リフォーム助成について。

不況がつづく中、地域経済にも大きな経済効果を生み、住民の安全・安心、住生活改善のために、住宅リフォームへの助成を久喜市においても創設すべきと考えるが市の考えはどうか伺う。

- (1) 住宅リフォームは、多面的な産業への波及効果があり、少ない予算で、抜群の経済効果が実証されている。経済効果など検討しているか伺う。
- (2) 住宅リフォームによって固定資産税など、自治体の財政基盤強化にもつながる。市の見解を伺う。
- (3) 住宅リフォームを実施する場合、地元地域の建設業者を発注し、地元経済への効果も大きい。市の見解を伺う。

4 国保税引き下げについて。

国保税の税率は平成23年度、旧一市三町統一にむけて検討されているが、高くて払いきれない国保税を引き下げるべきだが市の考えを伺う。

- (1) 旧菖蒲町、旧鷺宮町、旧栗橋町では、一般会計からの繰り入れ状況はどうだったか伺う。
- (2) 高くて払いきれない国保税は、収納率の悪化につながっている。一般会計からの繰り入れを増やして引き下げるべきと考えるが市の対応を伺う。

③ 石川忠義 議員

1 審議会などの附属機関の委員に、審議会設置の目的やこれまでの経過などが、行政から十分にされていないことがある。

附属機関によっては、委員間による本来あるべき議論がされていないものもある。改善すべきであるが、考えを伺う。

- (1) 合併後に開催した全ての審議会などの附属機関で、第一回目の会議で設置の目的や、これまでの経過について説明を行ったか否か伺う。
- (2) 新しく設置する附属機関の委員や新任の委員には、設置者である行政が趣旨と経過を丁寧に説明する機会を設けるべきであるが、考えを伺う。

2 緑の基本計画策定のための予算が見送られた。早期着手を進めるべきであるが、考えを伺う。

- (1) 予算見送りの理由を伺う。
- (2) 今後の緑の基本計画策定着手の計画を伺う。

3 栗橋から久喜駅周辺間の幹線道路を整備すべきであるが、考えを伺う。

- (1) 現在も大量の自動車などが通行している、東北新幹線下の市道全線を補強・整備することで、南栗橋・鷺宮・久喜駅周辺への交通の流れがスムーズになる。計画的に補強・整備すべきであるが、考えを伺う。
- (2) 桜田・栗橋間の交通をスムーズにするために、市道栗橋680号線の拡幅・整備を進めるべきであるが、考えを伺う。

- 4 健康福祉サービスの充実のために、福祉オンブズパーソンが、自らの問題意識にもとづいて事業や施設を調査する発意調査を活発に行うよう、市は促すべきであるが、市の考えを伺う。
- (1) これまでの発意調査の実績を伺う。
 - (2) 総合福祉条例第30条第3号にある発意調査に係る「問題事案」の解釈は、具体的な案件ではない。あくまで、第三者であるオンブズパーソンの問題意識にもとづく事案と解される。問題意識にもとづいた発意調査の実施を促すべきであるが、考えを伺う。
- 5 自立支援給付費等の不正請求事件に関わる、損害金全額の早期返還を急ぐべきである。原因者を逮捕したと警察からの発表があったが、前回議会後の経過と今後の取り組みについて市の見解を伺う。

④ 齋藤 広子 議員

- 1 暮らし便利帳を作成し発行してはどうか。
- (1) 市民サービスの向上の為に、公共施設だけでなく、民間施設等も載せ、暮らしの情報、全般を載せる情報誌を市民に配布してはどうか、伺う。
 - (2) 地方自治体と官民協働事業としてゼロ予算で作成できる方法があるが、どう考えるか。
- 2 重度心身障害者医療費とひとり親家庭医療費の窓口払いを廃止すべきではないか。
- (1) 現在子ども医療費は、窓口払いが廃止ですが、重度心身障害者医療の方にも医療費の窓口払いを廃止すべきだと思うが如何か。
 - (2) ひとり親家庭の医療費助成の窓口払いも廃止すべきだと思うが如何か。
- 3 買物弱者対策について。
- (1) 9月議会に於いて、近くにスーパー等がない買物弱者に「買い物マップ」を提供できないかと質問したが、「大変有効なもので市内の商工会や福祉団体と調整を図りながら研究する」と答弁を頂いた。その後の進捗状況は如何か。
 - (2) 県で行っている「地域支え合いの仕組み」の支援を利用し、商工会等、連携をとり買物弱者支援ができないか。
- 4 市道久喜4号線の橋幅を広げる事は、できないか。
- (1) 久喜北地域の野原園芸の横の道（久喜4号）は、鷲宮やライオンズマンションの方が多く利用し、踏切も近く、いつも事故多発地域である。橋の道幅を広げられないか伺う。
 - (2) 橋の近くの道も車の流れを円滑に解りやすく周知できるよう工夫できないか伺う。

⑤ 岸 輝 美 議員

1 スポーツ・レクリエーション活動振興のため、場の保障・整備を。

(1) 本年度に入り導入された学校体育施設開放に係わる室内運動場照明料の実費徴収について、青少年団体への適用除外、あるいは減免処置を講ずるべきと考えるがどうか。

(2) 利用する市民の利便性と効率性向上のために。

ア 市内全てのスポーツ・レクリエーションの場は教育委員会により一元管理されているのか。

イ 貸し出し方法、利用する市民にとっては使用する際のルール等は統一されているのか。

(3) 県の施設について。

ア 県立高校の施設開放について。

(ア) 利用の現状を伺う。

(イ) 利用の促進について。

イ 権現堂公園について。

(ア) 権現堂公園（1号）の建設状況を伺う。

(イ) その管理・運営権を県より取得、市民の利用促進を図るべきと考えるがどうか。

2 新学習指導要領と久喜市の教育行政について。

本年4月より小学校においては新学習指導要領が完全実施される。

(1) 平成20年公示以来3年、完全実施を前に久喜市ではあらゆる準備を完了したのか。

(2) 新しい学習指導要領のもとでは指導要録も変わる。評価の考え方や方法は準備出来ているのか。

(3) 新しい指導要領では「ゆとり」でもなく、「詰め込み」でもない知識・道徳・体力のバランスがとれた力である「生きる力」の育成を掲げている。

具体的にどう主体化されていくのか。

(4) 全教科に導入される「言語活動の充実」について。

ア 新学習指導要領では学習到達度調査から、読解力のさらなる向上を目指し、「言語活動の充実」をかかげている。言語活動の充実の内容は何か。

イ 外国語—国語との関係について。

(5) コミュニティ・スクールの導入を。

「生きる力」の育成には学校と共に家庭・地域の連携が不可欠である。新しい指導要領の下では新しい学校運営が求められる。そのためにも地域住民・保護者が学校運営にかかわるコミュニティ・スクール(学校運営協議会)の導入を求めるものだが。

3 「無縁社会」について。

NHKの「報道プロジェクト」や朝日新聞の連載「孤族の国」等により「無縁社会」の実情がクローズアップされている。さまざまなつながりの中で、豊かな明日の地域社会を願う者として伺う。

(1) 過去5年間、久喜市で行旅死亡人、孤独死と見られる死亡は確認されているか。

- (2) 単身世帯数(率)について。
- ア 市内での単身世帯数はどれ位か。
 - イ 特に65歳以上高齢者の単身世帯数
 - ウ 超高齢社会、貧困社会到来のなか、上記イに対し、市ではどのような施策を講じているか。
- (3) 驚くべき数で未婚率が増加している。さまざまな背景はともかく、市としても何らかの結婚支援事業を考える時では。
- (4) 無縁社会への対策を講じるため、政府内に「特命チーム」まで発足した。いずれにせよ「住んで・生まれてきて良かった」久喜を創っていくとする市は、『最小不幸社会』・『最大幸福社会』どちらの手法をとるのか。

⑥ 内 田 正 議員

- 1 国の子ども手当金支給を巡り一部の県や政令指定都市の横浜、千葉、さいたま市などが地方負担金を全額国に求めるとして新年度予算計上をしないとする報道がなされている。我が久喜市でも厳しい財政状況下、バラマキ子育て支援策は見直し所得制限などして子ども手当金の支給をすべきである。従って地方負担金は全額国に求めるべきと思うが当局の考えを伺う。また子ども手当の支給金から保育料や学校給食費など滞納金を差引支給するなどした自治体もあるようだが、こうした方法を何故やらないのか、やれないのか疑問をいただくものである。併せて考えを伺う。
- 2 老朽化施設のすみれ保育園、さくら保育園の改築に向けた調査結果から現時点での具体的整備計画の策定状況を伺う。

この2施設はH15年3月に策定された整備計画が、その後の急激な社会情勢の変化や財政状況の悪化により計画の先送りが余儀なくされ今日に至っているが、市民からの早期建て替え要望は頂点に達している。このことから先頃の改築に向けた調査結果から現時点での具体的整備計画策定状況を伺う。
- 3 防災行政について伺う。

家屋に近在する遊休農地・不耕作地や公道・河川に側した空き地の枯れ草について。
冬季に入り異常乾燥気象が続いている。特に気になるのが火災である。近年市内随所において遊休農地・不耕作地や公道・河川に沿って空き地に枯れ草が繁茂したままで見受けられる。特に家屋に近在した空き地の枯れ草に火が入ると予期せぬ大火につながることから防災体制の強化が求められる。これらの箇所は掌握し防災指導や警告等行っていると思うが、一向に無視している者などには当局はどの様に対処しているのか伺う。

⑦ 田村 栄子 議員

1 妊産婦のマタニティマークの普及について。

- (1) 久喜市内でマタニティマークの普及率はいかがか。
- (2) 新市になってからの当マークは何枚申請されたか。
- (3) 当マークの普及に対しての広報・PRの現状と予定はいかがか。

2 発達障がい者支援の現状に関して。

- (1) 久喜市の自閉症や注意（力）欠損多動障がい（ADHD）、学習能力障がい（LD）などの発達障がいの現状はいかに把握されているか。
- (2) 合併後の市内各学校単位で発達障がいの児童生徒に対して教職員の認識と理解に格差が生じていると保護者から聞くが現状はいかがか。

3 久喜市立栗橋西中学校の水泳用プールの現状と今後の対策に関して。

- (1) 久喜市内の中学校のプールの現状と水泳授業の現況は。
- (2) 久喜市立栗橋西中学校のプールは平成15年に修理不能となっているが、その後再建予定の考えはいかがか。
- (3) 使用不能のプールの代わりに水泳授業は平成15年度からB&G海洋センタープールで行っているが、学校とセンターまでの道中の交通事故を心配要因としてあるが、これについていかがお考えか。

4 久喜市内で発生した自転車事故の実態について。

- (1) 新市の分を含め最近5年間で自転車による事故で被害者数の推移は。そのけがの程度（軽傷から重傷）はどのようになっているか。
- (2) 自転車事故の加害者人数とその中の小中学生の人数は。
- (3) 事故の原因の主なものは。
- (4) 市内の小中学校で自転車走行ルール教育はどのように行われているか。
- (5) 事故の未然防止並びに事故対策のために、行政側としてやるべき課題をどのように考えているか。

【第2日目 2月23日（水）】

① 盛永圭子 議員

1 成人式について。

1月9日、市内4会場で成人式が行われた。久喜市では、1,729人が新成人となった。好天に恵まれ、晴れ着姿の新成人の参加者が多く見られた。

- (1) 今までは20才になった記念として、成人式に出席をした人は記念の集合写真があった。今年はなぜ記念写真をなくしてしまったのか。
- (2) 式典のあり方についての話し合いはあったのか。
- (3) 今までは来賓の方を大勢招き、地域で祝ってあげた。今年はなぜ来賓を少なくしたのか伺う。

2 虐待について。

各種報道によると子どもに対して実の母親や父親の虐待が後を絶たない。私たちの育ったころには考えられない。

- (1) 本市では虐待の状況を把握しているのか。
- (2) どのような方法で虐待を把握しているのか。
- (3) 虐待防止策としてどのようなことを考えているのか。市の考えを伺う。

3 手押し信号機の設置を。

- (1) 栢間小学校の正門前には県道行田蓮田線が通っている。この道路は朝夕の通勤の車が多く、しかもカーブをされていて見通しが悪く危険である。是非とも手押し信号機の設置を望む。
- (2) 通学路である、県道下石戸上菖蒲線と市道菖蒲72号線との交差点に手押し信号機の設置を望む。市の考えを伺う。

② 渡辺昌代 議員

1 指定有料ゴミ袋と清掃センターへのゴミの持ち込みについて。

- (1) 菖蒲、栗橋、鷲宮地域のゴミ袋に、指定有料ゴミ袋を取り入れている理由は。
- (2) 久喜宮代衛生組合で行っているように、指定袋をなくしてもよいのではないか。
- (3) 菖蒲の清掃センターはすべてのゴミの持ち込みが有料であるが、ある程度の緩和が必要ではないか。

2 公民館の予約とキャンセルについて。

- (1) 現在の公民館の予約の仕方は統一されていないが、今後どのようにしていくつもりなのか。栗橋の予約方法は、すぐにでも利用しやすいように変えるべきでは。
- (2) 現在、利用料金支払い後のキャンセルについては、料金の払い戻しが、かなりまえであってしてもらえないが、返金するか、次回の利用料に回す、などの対応をするべきでは。

3 国民健康保険税の引き下げを。

- (1) 久喜市の国民健康保険税は高くて払いきれないと言う声を数多く聞いているが、市の認識は。
- (2) 国民健康保険税の引き下げをするべきと考えるがいかがか。
- (3) 平成24年度に統一に向けた市の考え方は。

4 少人数学級の推進について。

- (1) 平成23年度から国の政策として、小学校1年生に35人学級を実施していくことが決まったが、それに合わせた県の対応は。
- (2) これまで行ってきた小学校1年生、2年生35人学級で対応してきた特例措置は、3年生に移行する、もしくは40人学級になる学年で、クラス減にならないような措置をする、などの要望を強くしていただきたいがいかがか。
- (3) 市として独自の少人数学級を進めてはどうか。

5 保育園整備計画について。

- (1) 今年度に行われた、さくら、すみれ保育園の建て替えを前提とした調査結果について。
- (2) それをもとにした、さくら、すみれ保育園の整備計画はどのように考えているのか。来年度具体的な計画がもてるのか。

③ 鎌田忠保 議員

1 道路後退の部分について。

建築確認等により道路後退した部分が、実際には公道として利用しているが、個人の名義の残る道路を改良工事したが、個人名義との理由で、その部分だけ個人に工事費を負担させるのは納得できないが、行政としては、これからも本当にこのままでよいと思うか伺う。

- (1) このような例が今までにあったか。
- (2) 現在の道路後退部分はどの位あるか。
- (3) 名義変更の手続は個人又は行政どちらが行うのか。

④ 宮崎利造 議員

1 単身高齢者対策について（要援護者対策も含めて）。

昨年、国勢調査が実施され、その調査結果については未だ内容について発表されていないが、話によると単身高齢者の数が5年前に比較し、大幅に増加していると聞いているが、この高齢者対策について市は今後どの様に対処していく考えなのか伺う。

- (1) 日常における高齢者対策について市はどのように対処する考えなのか伺う。
- (2) 災害時における単身高齢者の安全確認については、どのように行う考えなのか伺う。

2 食育計画の推進について伺う。

現在久喜市は、食育推進計画策定について進めており、23年度に策定されるとのことであるが、そこで何点か伺う。

- (1) 現在の進捗状況について伺う。
- (2) 策定後、この計画をどのように市民にPRし進めていく考えなのか伺う。
- (3) 学校教育現場において、どのように子供達に収穫の楽しみや食の大切さを教えていく考えなのか伺う。
又、農政サイドとしてどのように考えているか（協力体制について）。

⑤ 松村茂夫 議員

1 合併1年の検証。

- (1) 総合支所。
 - ア 総合支所のあり方。予想と利用実績はどうであったか。
 - イ 市民からの声はどうか。
 - ウ 総合支所長の責任と役割は適正か。
 - エ 見直し、検証の予定は。
- (2) 公共施設利用料。
 - ア 実績と無料時の比較（利用者数）。
 - イ 市民と利用者の声。
 - ウ 収入金の状況と用途。
 - エ 今後の考え方。
- (3) 区長手当の減額。
 - ア 影響はどうか。
 - イ 副区長等についてやりにくい声はないか。
 - ウ 今後の考え方は。

2 式典等に於ける国旗、国歌について。

1月28日、都教委の国旗、国歌を巡る通達は合憲との高裁判断が出された。久喜市内の小中学校の式典に於ける現況はどうか。

また、意思統一についてどんな働きかけをしているか。

⑥ 木村奉憲 議員

1 高すぎる国保税を引き下げて健康といのちを守ることにについて。

旧一市三町の国民健康保険税は高く、払いたくても払い切れない現状である。本来皆保険制度の中で、健康といのちを最低限保障し守るのが国と地方自治体の責務である。今議会には大幅に値下げしてほしいという市民の切実な声、請願署名一万筆以上が託され、寄せられている。このため以下の質問をする。

- (1) この署名の声の第一は、なぜ高いのかであるが、どのように認識しているのか。それを改善すべき方策はどこにあるのか。
- (2) 年々増加する、払いきれない滞納者に対してどんな改善策をしているのか。その効果はあがっているのか。
- (3) 資格証明書や短期保険証の現状と対応はどのようにしているのか。また健康といのちを守る立場から、すぐ廃止すべきだが。
- (4) 国へ補助金増額の要求とともに、一般会計からの繰り入れを増やし、安心して支払える国保税のため大幅に引き下げるべきだが。

2 介護保険制度の見直しは多くの問題点があり改善すべき。

厚生労働省は2011年度の介護保険制度改革案を提出しようとしているが、この中で軽度者の自己負担割合の引き上げ、生活支援サービスなどの縮小を図り、施設利用者支援もきびしくするなど、多くの問題点がある。このため以下の質問をする。

- (1) 自己負担の割合を現行の1割から2割を視野に「要支援」と「要介護①」分野に適用しようとしているが、大きな問題であり、今までの「予防重視」の観点がなくなり、市民への影響も大きいのではないか。
- (2) また、軽度者の家事など生活支援サービスの縮小や、今まで自己負担のないケアプラン作成料も導入するなど、ますます利用者への負担増も検討するなど、この点の問題点も大きいのではないか。また、これが実施されたら久喜市の現状はどう変わるのか。
- (3) 介護施設を利用している、低所得者の居住費や食費を補助する「補足給付」対象者についても、選定の厳格化をする案が提示されているのは、施設利用者をますます遠退けることでゆるされない。いかがか。

3 最近の生活保護をめぐる現状と、特に申請後の対応について。

ますます不況が長びく中、生活保護申請は大幅な増加となっている。最近の生活保護申請の内容も様々な理由があるといわれている。また、申請後にその対応などをめぐって問題点も見受けられるので以下質問をする。

- (1) 最近の生活保護申請の状況と、それに見合った対応を具体的にどのように行なっているのか。
- (2) 申請受理後に、どのような適用範囲やその後、変更や受給内容については、どの様な指導や対応をしているのか。とくに、過払いや支給直前になっての変更など、受給者にとって生活が大変な中で困っている状況があるが、その対応の改善が必要ではないか。

4 公園の整備拡充について。

最近、公園全体の整備が遅れ気味な状況が見られる。これまで、旧一市三町での対応に違いもあると思われるが、統一した基準とともに、子どもたちが安心して遊べる環境整備と、新市での中心街の公園拡充が必要なので以下質問をする。

(1) 新市での公園整備の状況はどのようになっているのか。

遊具、芝刈り、フェンス（ペンキ塗り替え）、砂場、水のみ場などの整備と点検はどのようになっているのか。また、これらの統一した基準を作るべきではないか。

(2) 旧久喜市の西側地域や、旧3町の中心街にもっと公園を作ってほしい。拡充してほしいとの声が多い。全市の計画的な公園づくりとともに、大型店や開発地域での公園を、機能的に配置する計画を持つべきと思うがいかがか伺う。

⑦ 戸ヶ崎博 議員

1 公園の整備推進について。

- (1) 借地方式の公園の拡大の取り組みについて。
- (2) 公園の芝生化の推進をまたそのために芝刈り機の整備について。
- (3) 公園の里親制度の状況と推進について。
- (4) 公園等にあるトイレを洋式に改善すべきと考えるがどうか。

2 菖蒲南部、北部工業団地の進展に伴う雇用について。

菖蒲南部および北部工業団地の建設が急ピッチで進んでいる。大手企業の進出に久喜市民の期待が高まっている。特に近年の雇用の状況から、雇用の促進拡大に対して久喜市としての働きかけについて伺う。

3 都市計画道路寺田上中島線の取り組みについて。

寺田上中島線は菖蒲地区の最重要道路である。早期の開通を待望している。23年度の当局の取り組みについて伺う。

4 デマンド方式の学習会の開催について。

公共交通の検討をするにあたって、デマンド方式の公共交通について学習する機会を考えるとどうか。

5 子宮頸がん、乳がんの無料クーポン券の受診状況について。

子宮頸がん、乳がんの無料クーポン券による受診状況は、利用促進の取り組みについて伺う。

6 公的文書等の文字の拡大について。

市からの公的書類や広報などの文字をもっと大きくできないか伺う。

【第3日目 2月24日（木）】

① 梅田修一 議員

1 鷺宮南部開発について。

周辺道路の開通により、商業施設の早期開店が多くの市民から期待されている鷺宮南部開発であるが、進捗状況と商業施設開店までの見通しについて伺う。

2 道路整備について。

- (1) 市道鷺宮6号線の鷺宮団地内、鷺宮保育園前の横断歩道は園児、保護者、地域住民の方々の安全の確保という観点から手押し信号の設置が強く要望されているが久喜市の対応について伺う。
- (2) 都市計画道路幸手久喜加須線は3市の市街地を結ぶ地域の基幹道路としてその整備が期待されているが、今後の延伸計画について伺う。
- (3) 県道川越栗橋線は、鷺宮地内において歩道の未整備区間があり、新川用水から下陰の交差点にかけては歩行者にとって大変危険な状況にあるため歩道の整備が必要であると考えますが久喜市の対応について伺う。

3 税収確保について。

- (1) 平成21年度の旧地域における税金の収納率を含めた収納状況・課題について伺う。
- (2) 「クレジットカード納税」の導入について伺う。
- (3) 「ふるさと納税」について、平成21年度の旧地域の取り扱い状況と新市における推進について伺う。

② 杉野修 議員

1 東鷺宮駅の「橋上化」・バリアフリー化事業について。

住民・利用者は、本事業の一刻も早い着手を待ち望んでいる。新年度においては、調査に基づく実施計画の具体化を図ることが求められている。以下の点を伺う。

- (1) 実施した調査の項目と結果。
- (2) 調査結果を受けての今後の進行計画。
- (3) バリアフリー法の趣旨・内容を満たす手法についての行政の考え方

2 ごみ行政について。

いわゆる「ごみ行政」は、合併前の各衛生組合による違いがあったが統一に向けての準備がなされている。しかし、「肝心要」の住民の理解と合意、納得がないまま進み始めている。今のままでは行政への協力を得ることがむずかしいのではないか。以下伺う。

- (1) 組合別のごみの出し方、分別収集の主な相違点。
- (2) 組合別の収集回数、集積所設置数の主な相違点。
- (3) 組合別の手数料など費用負担の主な相違点。

3 鷺宮地区内での都市計画法違反事案について。

許可を得ずに建てた建築物での違法な営業を続け、近隣住民に多大な迷惑を与えている地権者、事業者に対して市の指導責任が問われている。11月議会に引き続き早急の行政指導をもとめる。

- (1) 市はどのような内容で是正勧告を出したか。
- (2) 相手側が提出した是正計画の内容について。
- (3) 市は解決に向けて如何なる方針を立てたか。

③ 猪 股 和 雄 議員

1 ごみ・し尿処理の全体構想と計画について、久喜市としての見解を確立すべきである。

以下はきわめて高度な政治的判断・決断が求められる課題であり、田中市長の基本的見解を求める。

- (1) 菖蒲地区のし尿処理を、北本地区衛生組合から久喜宮代衛生組合に移行すべきである。
久喜宮代衛生組合のし尿処理費は1億1400万円（22年度予算）に対して、菖蒲地区のし尿処理のための北本地区衛生組合負担金は4000万円であり、きわめて非効率と思われる。
ア 今後の北本地区衛生組合の施設改善のための負担金などを考慮すれば、早期に脱退して久喜宮代衛生組合での処理に一本化すべきである。中長期的な北本地区衛生組合の財政的負担の見通しを明らかにされたい。
イ し尿処理行政の久喜宮代衛生組合への一本化を進める方針を打ち出すべきであるが、市長の見解を伺う。
- (2) 久喜宮代衛生組合の3焼却炉体制の見直しを進めるべきであると考えますが、見解を明らかにされたい。特に、久喜宮代センターと八甫センターの焼却炉は老朽化しており、今後10年くらい以内に統廃合を含めて改築を検討していかなければならない。ごみ処理基本計画や焼却炉建設計画を進めるにあたっては、久喜市政としての見解を整理しておく必要がある。
- (3) 焼却灰などの最終処分は、市外へ持ち出しての埋立をなくしていく方向をめざすべきである。
町田市や鎌倉市ではすでに“埋め立てゼロ”を実現しており、久喜市（久喜市長）としての見解を明確にした上で、衛生組合の方針として確立していただきたいが、見解を伺う。

2 学校動物飼育と指導の状況を明らかにされたい。

- (1) 1月7日に学校動物飼育研修会が開催されたが、全小中学校から参加しているか。それぞれ校長または教頭、飼育担当教員が参加したか。
特に久喜地区以外の小中学校について、動物飼育に関する共通理解は得られていると判断しているか。

- (2) 各学校において、適正な飼育方法の改善や獣医師との連携はどのように進められたか。学校ごとの獣医師への委嘱、獣医師による訪問と診断、飼育方法の指導がどのように行われ、各学校の飼育態勢の改善がどのように行われたか。それらの経過について教育委員会に報告は全部から上がっているか。
- (3) 昨年の決算委員会の答弁で、飼育数がウサギ30羽、20羽という小学校もあったが、1月の研修会で参加者から「劣悪な状況」が発言されている。改めての点検、指導が必要ではないか。
- (4) 教育委員会として、適切な飼育態勢が確立されていない、また飼育舎の改善が必要な学校は、どのように把握しているか。

3 久喜市の学校給食のあり方を総合的に検討していくにあたっての、教育委員会の基本的考え方を問う。

- (1) 久喜市の学校給食調理方式は、全面委託大規模センター、直営・中規模センター、自校調理の3方式であるが、「学校教育」の中での「食」の提供という観点から考えたときに、直営で、自校調理方式、次に中規模センターが優れていることは明らかである。現に優れた方式で行われているものは基本的に維持するとともに、よりベターな調理方式を拡大していくべきであるが、教育委員会の基本的姿勢を示されたい。
- (2) 栗橋南小学校の校舎改築後の学校給食を、自校調理方式で実施すべきである。
 - ア 校舎改築の設計に調理室を入れないということは、南小の自校調理方式はやめることを前提としているのか。
 - イ 改築に合わせて調理室を作るべきであるが、方針を明らかにされたい。
 - ウ 学校給食審議会の答申は、南小の校舎改築後の調理方式について「新市全体の学校給食の運営方針を検討する中で、改めて総合的に検討する」となっているが、その結論を出すのはいつを想定しているか。
 - エ 審議会の協議や教育委員会の方針策定の前に、南小学校および栗橋地区の小学校の児童と保護者らの意見を聞くべきである。
 - オ 学校給食調理方式は、財政や効率性の問題としてだけでなく、「学校教育」と「食」という政策的判断に立って方向性を示すべきである。栗橋地区において、最も優れた調理方式である自校調理方式を続けていく方針を打ち出すことについて、田中市長と教育長の政治的・政策的判断を明らかにされたい。
- (3) 1月21日の答申では、「新市全体の学校給食の運営方針を検討する中で、改めて総合的に検討」とあるが、
 - ア 新市全体の学校給食の運営方針を、栗橋南小の調理方式をからめて短期間に検討すべきではないと考えるが、いかがか。
 - イ 新市全体の総合的な検討のためには、少人数の審議会委員だけでなく、広範な市民意向調査をふまえて、相当の時間をかける必要があると考えるが、いかがか。
 - ウ 「改めて総合的に検討」のスケジュールと検討過程をどう考えているか。
 - エ 給食調理方式は1方式に“一本化”する必要はないと考えるが、見解を伺う。

- 4 1月から「久喜市防災無線情報」のメール配信が開始された。その状況と改善について伺う。
- (1) 登録者の拡大には制度開始早々がカンジンであるが、半月間の登録状況（件数）はどうか。
- 登録者拡大に向けて、どのように働きかけているか、また団体などにどのように働きかけていくか。
- (2) 放送・配信内容の改善についての方針を伺う。
- ア 1月12日以降、行方不明者のお知らせが2回、放送、配信されたが、「発見された」報告をすべきである。
- イ 「振り込め詐欺」については、久喜は「ただいま、久喜市内において、子供や孫などを装った振り込め詐欺の電話が、多数かかってきております。不審な電話があっても、慌てず、家族や警察署に相談してください」という毎回同じ文章で注意喚起をしているだけだが、春日部市などは市民に具体的な情報提供を行っている。情報提供のあり方について研究・改善されたい。
- (3) 情報提供の内容を充実すべきである。
- ア 火事情報
イ 不審者情報
ウ 空き巣等の防犯情報
- (4) 防災無線情報だけでなく、「子育て情報」「ガン検診や特定健診の勧め」などの市政情報もメール配信して欲しいが、考え方と方針を伺う。
- 5 シュレッダーごみをトイレトペーパーにリサイクルする装置（桐生市の企業が開発した“ホワイトゴート”）を市役所に設置してはいかがか。
- 桐生市役所に9月に設置され、ほぼ完全自動運転で1日7.2kgの紙ごみから48個（30分に1個）のトイレトペーパーができる（12月にTV報道）。年間2628kgのシュレッダー紙ごみを処理可能。個人情報の入った紙ごみの処理が自前のできる、ごみ減量とリサイクル啓発効果のメリットがある。一方で1台900万円と高価であるが、久喜市役所に設置された太陽光発電装置（935万円・発電量換算1日500円）の例もあり、導入を検討してはいかがか。
- 6 上下水道部で製造した「安全でおいしい久喜の水」の普及をどう進めるか。
- (1) 製造費、製造量、製造単価、販売方法、販売単価、販売実績と販売収入を明らかにされたい。
- (2) 製造目的、製造方法（浄水方法など）、この水の特徴（水道水との違いなど）を明らかにされたい。
- (3) 市民に広げたいと考えているか。宣伝と販売拡大（市役所での販売など）の方法をどう考えているか。

④ 矢 崎 康 議員

1 認知症対策について。

- (1) 認知症疾患医療センターの役割とは。
- (2) 久喜市はこのセンターと具体的にはどのようにかかわって、地域の病院や診療所と連携していくのか。
- (3) 認知症予防について。
 - ア 今年度の講演会や認知症サポーターの取り組みは。
 - イ 「高齢者あんしん協力店」制度で安心して買い物ができる生活環境を。
 - ウ 子どもたちへの認知症に対する取り組み。
- (4) 認知症の人であっても地域参加できる取り組みをしてはどうか。
- (5) 介護支援ボランティア制度についての考えを伺う。

2 障がい者福祉計画の策定にあたって。

障がい者福祉サービスが充実してきた現在も、地域で暮らす障がい者やその家族は、様々な悩みを抱えています。誰もが住み慣れた地域で安心して住み続けられるよう、民法上の成年後見制度だけではなく、支援を要する障がい者の権利擁護の観点に立って、地域において安心した生活を送ることができるためにおこなう後見的支援制度の導入を検討すべきと考えるがどうか。

3 弦代、沼井公園のトイレの改善について。

住民より暗い、怖いという声がありますが、改善すべきと考える。

- (1) どのような管理体制になっているのか。
- (2) 鏡の設置や床や壁の塗り替え等を検討してはどうか。

⑤ 岡 崎 克 巳 議員

1 運動施設の照明の設置について。

- (1) 久喜総合運動公園のテニスコートは指定管理者のもと利用者増とサービスの向上に努めている。このような中、利用者から夜間も利用したいとの強い声を聞く。

久喜市内で照明が設置されているテニスコートは、久喜地区では青葉公園、菖蒲地区では森下緑地グラウンド、栗橋地区では南栗橋近隣公園、鷺宮地区では沼井公園である。6面を有する久喜総合運動公園テニスコートには未設置である。利用者の健康増進、大きな大会の中心会場という面からも、照明の設置が必要と考えるがどうか伺う。
- (2) 久喜市内、各小中学校は学校開放事業の中で、屋内外の運動場を市民や各団体が多く利用している。屋内運動場は夜間も利用できるが、運動場で夜間利用できるのは3校だけである。運動場を利用する団体は夜間利用できる場所を増やしてほしいとの声がある。この声に応えるべく、照明のある運動場を増やすべきと考えるがいかがか伺う。

2 右折信号の設置について。

市役所通りの中で4間通り（春日部久喜線）と6間通り（市道久喜1号線）の交わる交差点には右折帯はあるものの、右折信号が設置されていない。最近では、朝晩のみならず日中でも右折帯が渋滞する時があり、右折信号がないことが市役所通りの渋滞の原因になっている。交通安全のうえからも、渋滞解消の上からも、この2つの交差点に右折信号を設置すべきであるがいかがか伺う。

⑥ 大谷和子 議員

1 適応指導教室について。

子どもの悩みを解消し自立への支援を行う為に、適応指導教室の充実と各関係機関との連携の状況は。

- (1) 市内4箇所に適応指導教室があるが、各適応指導教室の22年度の現状は。
- (2) 家庭訪問指導の実績は。
- (3) 担任との連携や教育相談室などとの連携は。

2 小学校・中学校の連携について。

本市の小学校・中学校の連携を通じた教育の効果的な推進について市の取り組みを伺う。

- (1) 過去の連携を意識した取り組みでの成果は。
- (2) 保育園・幼稚園・小学校の連携の現状は。

3 児童館について。

児童厚生施設である児童館の役割は様々あるが、市内児童館の行っている事業について伺う。

- (1) 各児童館の事業内容。
- (2) 各児童館の利用人数は。
- (3) 地域の中で果たすべき児童館の役割をどのように考えているか。

4 西大輪特定土地区画整理組合事務所の跡地について。

先日、西大輪特定土地区画整理事業が完成した。桜田1丁目地内にある事務所跡地の利活用について計画を伺う。

5 総合支所のあり方について。

合併してまもなく1年になり、様々な課題や解決すべき問題点などが明確になってきているのではないだろうか。住民ニーズに迅速かつ的確な対応が求められており、地域の拠点として総合支所の機能強化は重要である。住民に適切な行政サービスを提供するためには、総合支所と本庁との連携強化や、総合支所内の柔軟で機動性のある組織の再編は必要ではないか。考えを伺う。

⑦ 園 部 茂 雄 議 員

1 古民家の保存について。

築100年以上の古民家は重要な文化財としての価値が高く、市内の貴重な文化遺産を保護して、市として保存すべきだが市の考えを伺う。

- (1) 直近の文化財調査結果（古民家）についての市内の調査状況を伺う。
- (2) 重要文化財に登録した場合の優遇措置はどのようなものか伺う。
- (3) 市としてこれらの古民家について保存すべきと思うが市の考えを伺う。

2 公共施設の耐震化計画について。

市内小中学校の耐震化は計画的に進めているが、その他の主要公共施設の耐震化計画の状況、特に本庁舎については災害時の防災拠点となる施設であり今後の耐震計画を伺う。

- (1) 公共施設の耐震化の状況、特に主要施設（災害時避難場所）について伺う。
- (2) 本庁舎は早急に耐震化計画を前倒しにすべきだが市の考えを伺う。

3 簡易違反広告物除却活動の推進について。

簡易違反広告物（街路樹や電柱の不動産や金融、風俗などの貼り札や立て看板等）については、市の許可がないものが市内の幹線道路脇に目立ち、街の景観を阻害するばかりか、青少年に有害な広告物が目立つ。

旧久喜市では行政をはじめ市民団体が定期的に除却活動を行い、大きな実績をあげて来たと思われる。

合併後の久喜市になり、市全体をみると、残念ながら旧町の状況は、違反広告物が横行している状況である。この状況を市としてどのように考え、今後の対応を伺う。

- (1) 市としてこれまでの取り組みと市民への啓発をどのようにおこなっているのか伺う。
- (2) 地域や市民団体に協力を要請し、全市で違反広告物ゼロ都市をめざすべきだが市の考えを伺う。

4 6次産業化の推進について。

政府は昨年、農山漁村の再生のための改革として、その地域の特性を活かした農林水産物を生産し、それらを素材として加工することにより付加価値を創出し、それを流通・販売するなど、地域の第1次産業としての農林水産業とこれに関連する第2次・第3次産業に係る事業を融合させることにより、総合的かつ一体的な産業化を進め、農業者の所得の増大を図ることを目的に6次産業化法案を可決、そして本年6月にも施行される。

そこで以下の点について伺う。

- (1) この法案により、本市の農業振興において、6次産業化の意義や必要性をどのように認識しているのか。
- (2) 今後のその具体策としてはどのような政策を想定しているのか伺う。

【第4日目 2月28日（月）】

① 大鹿良夫 議員

1 JR宇都宮線の東側に計画される栗橋地区・鷺宮地区と久喜地区を結ぶ幹線道路の進捗状況について。

- (1) 県道阿佐間、幸手線から県道杉戸、久喜線に至る道路計画の方針と手法について伺う。
- (2) 予算（概算）と工事期間について検討しているか、伺う。
- (3) 久喜市道栗橋680号線は、栗橋地区佐間の県道阿佐間、幸手線から栗橋地区島川を経て稲荷木落し排水路と中川の橋梁を渡り、鷺宮地区八甫に向かう道路である。

ここは、水田地帯で見通しは良いのであるが、舗装部分の道幅が4m前後と非常に狭く、今までに幾度となく事故が発生しており、欠陥道路と呼ばれている。この道路で車とすれ違おうと接触しそうになり、大変危険を感じる。早急に待避場所を設け、安心して通行できるようにして頂きたいと思うが、見解を伺う。

② 鈴木精一 議員

1 EM菌の活用について。

EM菌の有効性を活用しようとする自治体が増えている。本市でも一部でプールの水質改善に使っている。EM菌を農業や環境改善に活用する動きもある。本市でも活用の幅を広げるべきではないか。

- (1) 全般的なEM菌の有効性、活用実態の把握は。
- (2) 市の取り組み。総括。
- (3) プールへの活用、水路の水質改善、農業への活用、活用の幅を広げるべき。

2 フリーソフトの導入について。

フリーソフトを活用し経費削減する動きがある。フリーソフトの信頼性が向上していることが底流にあり、この動きは確実に広がっている。

- (1) ワープロ・表計算ソフトをフリーソフトに切り替えた場合の経費削減効果（市長部局、教育委員会）。
- (2) 各地の切り替えの動き。
- (3) 問題点、障害は。
- (4) フリーソフトの導入、市の考えは。

3 学校保健安全法23条について

学校医、学校歯科医及び学校薬剤師は等しく学校における保健管理に関する専門事項に関し、技術及び指導に従事している。学校保健安全法に照らし以下伺う。

- (1) 同一の職務に対し報酬が異なるが、その認識は。
- (2) どう報酬額を算出しているのか。現状での認識は。

4 圏央道周辺道路について。

圏央道開通を目前に控え、周辺で側道整備が進められている。整備後は側道を幹線とした交通体系に変わると答弁されているが、それに沿った準備が必要だ。以下伺う。

- (1) 側道建設の進捗。
- (2) 側道及び周辺道路の速度規制及び安全対策。
- (3) 周辺道路の改善。

③ 鈴木松蔵 議員

1 教科書採択（歴史公民）について教育委員長の所見を伺う。

- (1) 教育基本法の改正を採択にどう反映させるのか。
- (2) 教科用図書採択にあたり当採択地区の基準はどう定めるのか。
- (3) 採択の具体的手順を説明して下さい。
- (4) 採択の審議の公開を求める。
- (5) 久喜市単独で採択してはどうか。
- (6) 日本の立場を教えることが大切であると思うが所見を伺う。

④ 足立清 議員

1 アリオ鷺宮（南部開発）の工期日程及び市道鷺宮17号線延伸計画と周辺道路整備について。

- (1) 本体外工事の着工については、道路築造工事完了後と聞いているが、一部未完了部分について、完了時期は、本年何月頃になるのか伺う。また、A区画・B区画同時に着工が計画されるのか伺う。
- (2) 南部開発に伴うメイン道路の市道鷺宮17号線と川越栗橋線のT字路交差点は、安全対策上十字路交差点に早期改善すべきだが、市の考えを伺う。
- (3) 市道鷺宮17号線は幸手・久喜・加須線の都市計画道路となっている、鷺宮高校前を通り加須市との接続計画協議を積極的に進めるべきだが、市の考えを伺う。
ア 加須市接続までの用地取得の状況について伺う。
- (4) 南部開発の市道鷺宮17号線を横断する、旧境界道路市道久喜2071号線と市道鷺宮414号線については、(株)南部開発が整備する事になっているが、計画時期について伺う。

2 東鷺宮駅東口の有料駐輪場の利用状況と収支内容について。

- (1) 2002年4月に事業が開始され、(財)自転車駐車場整備センターが管理運営しているが、財政投融资償還後は当該施設を市に移管採納する事になっているが、開業後の有料駐輪場の収支状況と移管後の運営について市の考えを伺う。
- (2) 東鷺宮駅西口の無料駐輪場については、盗難や放置自転車が多いことから、東口同様有料駐輪場の設置が要望されているが市の考えを伺う。
- (3) 東鷺宮駅周辺の自転車等放置禁止区域が東口のみになっている。西口も指定区域にすべきと思うが、市の考えを伺う。

3 埼玉りそな銀行東鷲宮出張所に窓口業務再開を求める署名活動と市の後押しについて。

多くの地域住民の皆さんの要望に応えるため、久喜市議会公明党と久喜市議会飛翔鷲宮支部との合同で、署名活動を実施した。思った以上の大変大きな反響があり、如何に窓口業務の再開を望んでいたかを改めて実感した。何としても窓口業務の再開を実現したいが、市行政の窓口業務の再開後押しについて考えを伺う。

⑤ 田 島 行 雄 議 員

1 河川改修について。

(1) 椎名地域の用水の護岸改修について。

(団地1街区公園の傍、変則交差点の所から西に向っている用水)

(2) 天王新堀の改修について。

ア 天王新堀の浚渫について。

イ 天王新堀に架かる橋と道路の改修について。

(鷲宮5-28-22番地の南東側)

⑥ 井 上 忠 昭 議 員

1 久喜総合病院について。

(1) 久喜総合病院の開院を直前に控え、次の点について伺う。

ア 開院時の医療スタッフ体制。

イ 病院の特徴(機能的特徴、医療機器・器材など)。

ウ 開院時提供できる医療内容(診療科目や特に救急、がんといった基本構想で柱として示されている分野に関して)。

(2) 救急は病院経営上、不採算部門といわれている。久喜総合病院はその救急を柱に据えて、2次救急以上を担う姿勢を示しているわけだが、市はこれまで建設での補助は行っても運営上の補助は行わないという姿勢を示してきた。そうであっても、行政として、2次救急病院の正しいかかり方、患者となる皆さまへの正しい情報を提供することで、病院側の負担を軽減し、市として市民の皆さまとともに病院を支え、ともに歩いていくための役割などあることは、これまでも一般質問で医療を取り上げたなかで繰り返して述べてきた。開院を直前に控え、そうした取り組みのこれまでや今後のあり方をあらためて示されたい。

(3) 病院敷地内のバス発着所やタクシールール、また特に久喜駅での案内や表示など。

2 市内の大学、また近隣で本市に関連のある大学との連携について。

(この場合、市内の大学は東京理科大学を、近隣で本市に関連のある大学とは平成国際大学を示して質問する。)

- (1) 大学がさまざまな形で行政と連携してまちづくりやものづくりをしている話題も多いが、久喜市では大学側からのアプローチは。また市側から連携への働きかけはどの程度行ってきたか。
- (2) これまでの取り組みや現在行われているものは。
- (3) 今後のあり方をどのように考えるか。

3 都市計画道路杉戸・久喜線開通に伴い生じた県有地などの活用方法。

- (1) 都市計画道路杉戸・久喜線が3月末に開通するが、この工事に伴って生じた県有地はどの程度あるか。また新県道に重複した以外の市道部分についてはどうか。
- (2) これらの活用方法はどうなるのか。活用が難しくなっている場合、その主な問題点となっているのはなにか。(県有地については2箇所(2箇所とも久喜東5丁目地内で、<オーバーブリッジ下、増田タクシー前の店舗跡地部分>と<オーバーブリッジを下りて最初の交差点左、市道久喜9067号線と接して広く空間の出来た部分>)を具体的に取り上げて聞いて行く。)

4 学校ファームの充実、発展へ。

- (1) 市内全小中学校が、県が示した基準にあった形で新年度よりスタートしていくが、そのなかで「学校周辺にある・通学路上にあることが望ましい」とする基準と、「一定の面積の確保」が示されているが、やはり学校によって周辺環境に違いがある。久喜市の場合はどうのように進めていくか。
- (2) 栗橋地区や菖蒲地区といった既存の地区は、これまで培ってきた近隣農家の方との関係や支援、これまで受けてきた補助などを継続していけるのか。
- (3) 久喜地区、鷲宮地区といった新たにこの基準で参加する学校は、近隣農家の方々や県が示した支援団体の方々との関係や支援をどう構築していくのか。
- (4) 久喜市としては学校ファームに対してどのような姿勢で臨み、発展させていくのか。